

# 1 パーソントリップ調査の概要

## パーソントリップ調査の目的

### パーソントリップ調査とは

どのような人が、どのような目的で、どこからどこへ、どのような時間帯に、どのような交通手段を利用して移動しているかを調べ、今後の都市交通計画を策定する調査です。仙台都市圏では、過去3回パーソントリップ調査が実施され、都市施設の整備などに役立てられてきました。

### 現在、仙台都市圏は、たくさんの交通問題を抱えています。

- ・道路整備を上回る自動車交通量の増大
- ・解消されない交通渋滞
- ・公共交通利用者数の減少
- ・自動車利用に伴うCO<sub>2</sub>排出量の増加 など

### このため、環境にやさしく暮らしやすい街にするために、パーソントリップ調査を行っています。

- ・誰もが使いやすい公共交通の実現
- ・渋滞を減らし、人と環境にやさしい交通の実現
- ・便利で快適な生活空間の実現 など

### 調査の対象

仙台都市圏にお住まいの5歳以上の方々です。  
住民基本台帳から無作為に抽出させていただいた世帯を対象に平成14年10月～11月に調査を実施しました。

### 調査の方法

調査員が、調査対象世帯のお宅を訪問して、調査を依頼して平日(火・水・木曜日のうち1日)の1日の動きを調査票に記入してもらい、後日再訪問して調査票を回収しました。

### 調査票の回収数

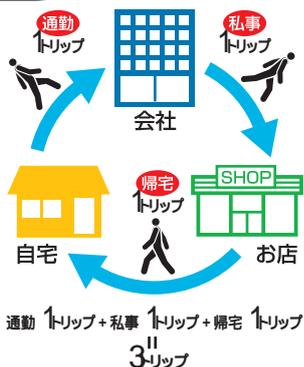
調査の結果、仙台都市圏で約3万5千世帯の約9万人の方から回答をいただきました。

## 交通実態調査の実施概要

### 用語の説明

#### トリップとは

人がある目的をもってある地点からある地点へ移動する単位をトリップとします。右の例では通勤で1トリップ、私事で1トリップ、帰宅で1トリップの合計3トリップを行ったことになります。



#### 発生集中量とは

1人1人の移動を「トリップ」というのに対して、1つのトリップの出発側と到着側をそれぞれ「トリップエンド」といいます。ある地域の中のトリップエンドを集計したものを「発生集中量」といいます。

#### 代表交通手段とは

1つのトリップの間でいくつかの交通手段を用いている場合、このトリップで利用した主な交通手段を代表交通手段とします。代表交通手段の集計上の優先順位は高いほうから、鉄道、バス、自動車、自動二輪・原付、自転車、徒歩の順となります。下の例では鉄道が代表交通手段となります。

